



第7回臨床安全世界会議に参加して：海外視察

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2019-04-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 阿部, 夏樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000614

海外視察

第7回臨床安全世界会議に参加して

福島県立医科大学 家族看護学 阿部 夏樹

2018年9月7日～8日にかけてスイス・ベルンで開催された「7th World Congress of Clinical Safety (7WCCS)」に参加し研究発表を行ったため、本会議の参加報告をする。

本会議開催地であるスイスの首都ベルンは、1983年に世界遺産に登録された美しい赤レンガ屋根の街並みで、ヨーロッパの歴史を感じさせる風情のあるホテルで開催された(写真1, 写真2)。この会議は国際医療マネジメント学会 International Association of Risk Management in Medicine (IARMM) が主催する国際会議で、今年は「Sustainable health care and management (持続可能なヘルスケアとマネジメント)」をテーマに行われた。日本以外からもアメリカ、カナダ、韓国、イギリスなど世界各国の医療関係者が参加した。

今回私は、「Nurse's non-technical skills for prevention of falls in hospitalized patients」というテーマで poster discussion を行った。本研究は、科学研究費助成事業に関連した研究で、転倒予防における non-technical skills の重要性を示した研究である。

本会議は今年から Poster discussion において Oral presentation も行うこととなり、学生以来英語に触れていなかった私にとって、英語での presentation は非常にハードルが高いものだった。しかし、諸先生方のご指導を受けながらなんとか発表原稿を完成させ、友人とともに presentation の練習をし、学会への準備を進めていっ

た。発表当日、会場は決して大きくはなかったが“外国人が私に注目している”という非日常的な状況に緊張しながら、“つたない英語でも、なんとか自分達の研究成果を伝えたい”という思いで発表した(写真3)。発表後には、参加者と情報交換をする機会もあり、貴重な意見を聞くことができた。

本会議では、そのほかにも医療安全に関する様々な研究成果が発表されていた。「様々な手順を少なくすることでエラーが50%減少したという研究」や「職場におけるいじめに関する調査研究」「訴訟問題にならないための対策」「高齢者の過度な投薬に対するシステム構築の効果」など、医療安全における幅広い内容の研究が行われていることを実感することができた(写真4)。

そのような中で私は、ポルトガルから参加していたカステイオ先生と discussion する機会があった(写真5)。先生の研究は World Health Organization (WHO) の「Safe Surgery, Saves Lives」というプロジェクトを受けて、2010年からポルトガルで実施している国家プロジェクトをベースとした手術室看護師の認識を評価する研究であった。また、カステイオ先生は看護師になって33年、教員歴23年の大ベテランで、研究以外の先生の経験談にも触れることができた。その中で、「看護の教育がとても楽しい!!」「様々な研究を通して、看護教育を充実させていきたい!!」という言葉が印象的だった。また日本では、学生が現場のスタッフに遠慮して聞けないと



(写真1)



(写真2)

いうことがあるが、ポルトガルでは率直に質問し、意見を聞くことができるという習慣だと知ることもできた。

今回私は、初めて国際学会に参加し、海外の参加者と直接話し discussion する機会を得た。国際学会に参加することは、様々な国の文化や実状を知ることができる貴重な場となり、日本との文化の違いを感じるからこそ国際学会の魅力だと感じた（写真6）。そのような場で

自分の思いや考えをきちんと伝え、discussion できるようにするためにも、研究のスキルや自身の英語力を高めていくことが今後の課題であることを実感する機会となった。

参 考 文 献

- 1) <http://www.iarrrm.org/7WCCS/> (2018年10月閲覧)



(写真3)



(写真4)



(写真5)



(写真6)